

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901761		
法人名	有限会社 あらた		
事業所名	グループホームあらた(ユニット1階)		
所在地	旭川市豊岡8条1丁目3番20号		
自己評価作成日	平成25年8月6日	評価結果市町村受理日	平成25年9月5日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=0172901761-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成25年8月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出の機会を設け、ホームの庭では季節の花の鑑賞や野菜の成長・収穫の喜びを感じられるよう、できるだけ外の空気に触れ、季節感を感じて頂ける支援を行っている。ホーム内でも体操や歌レクなどを通して、笑い声の絶えない生活支援を心掛けたり、職員の見守りを受けて自分の力でできる事を一緒に行えるよう、一人ひとりのQOLやADLの維持・向上に努める事で、充実・達成・満足を感じられるような支援を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<運営に関する家族等の意見の反映>
 要望や苦情等を言い表せるように、意見箱の設置や家族会開催で話し合う機会を設けていると共に要望や意見を苦情と捉えて、原因究明や是正を話し合い、その結果を家族等に報告し、運営に反映している。また、そこでの要望を事例として「対応アンケート」を活用して、職員一人ひとりに「自分自身ならどのように対応するか」振り返る機会を設けて、ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。

<楽しみを持つ生活支援>
 友人・知人の来訪や家族と一緒に墓参り等の外出支援をしている。また、畑作業やお花の手入れなどの役割ごとやお花見や買い物、銀座商店街の七夕祭り参加や回轉寿しへの外食、カラオケや風船バレーなどの室内レクの充実等役割、楽しみごとへの支援に努めている。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)				項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目		取り組みの成果 該当するものに 印		項目		取り組みの成果 該当するものに 印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の		63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 家族の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 家族の1/3くらい	
		4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない	
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある		64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように	
		2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度	
		3. たまにある				3. たまに	
		4. ほとんどない				4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が		65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 少しずつ増えている	
		3. 利用者の1/3くらい				3. あまり増えていない	
		4. ほとんどいない				4. 全くない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が		66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 職員の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 職員の1/3くらい	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が		67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 利用者の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 利用者の1/3くらい	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごしている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が		68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 家族等の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 家族等の1/3くらい	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が					
		2. 利用者の2/3くらい					
		3. 利用者の1/3くらい					
		4. ほとんどいない					

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時に管理者・職員と共に復唱。玄関・フロア掲示板に掲げ常に心に留め、介護業務に従事している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作りあげ、朝礼時に唱和し、理念を共有して実践につなげている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の散歩時の挨拶をはじめ、消火訓練・その他の行事においても地域の方々に参加して頂き、日頃より気軽に遊びに来て頂き、交流を図っている。	地域、町内会の人々との交流・連携は深く、地元の人々の消火訓練への参加や独居高齢者への現状など話し合われ、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を開催し、町内会の方々に参加して頂き、事業所の取り組みを理解して頂いている		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に会議を実施し、意見収集に努め、常にサービス向上に活かしている。	運営推進会議は、年6回を目安に開催し、行事案内や利用状況、消火訓練・緊急時対応など具体的な内容を話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者と質問事項を通じ、事業所の取り組みを伝えたり、又指導や助言を受けながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市担当者、包括支援センター職員とは、日常業務や研修会参加を通じて情報交換を行い、協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日頃より禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解し、一人ひとりの身心の状態を把握した身体拘束をしないケア実践に取り組んでいる。	不適切な言葉かけや誇り、プライバシーを損ねることがないように内部研修を実施している。また、指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待などの新聞記事をスクラップするなど日頃より虐待が見過ごされる事がない様、関心の目を持ち職員全員が周知し防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	司法書士よりアドバイスを受け、必要な指導を受けている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居者様・ご家族様と面談を行い、運営状況を説明し、何が不安・疑問かを尋ね納得されるまで説明をしている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談窓口や意見箱を設置し意見など聞いている他、面会時には気軽に話してもらえようような交流を図っている。	要望や苦情等を言い表せるように、意見箱の設置や家族会開催で話し合う機会を設けていると共に要望や意見を苦情と捉えて、原因究明や是正を話し合い、その結果を家族等に報告し、運営に反映している。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回ミーティングを行っている他、管理者と職員の連携を深められるよう交流の場を作り、意見交換している。	日常業務や月1回開催するミーティング、ケアカンファレンスで職員の意見や要望、提案を聞く機会を設け、それらを運営に反映している。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	実績・勤務状況の把握をしている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	協力医療機関や調剤薬局の協力を仰ぎ、勉強会を開催したり、毎月1回のミーティング内で問題形式を提示し、職員の資質向上に努めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会への参加等で介護にかかわる職業の方と交流し、質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に入居者様の身心の状態やサービス開始以前の生活を把握し、ご本人様の安心に繋がるよう動めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前面談や電話等を利用し、ご家族様の要望を取り入れケアに取り入れている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	生活暦やご本人様の身心状態を把握し、ご本人様が必要としている支援を心掛けている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の出来る事、得意、楽しめる事を見極めスタッフと共に作業を行っている。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のお手紙や電話で、都度入居者様の状態を伝えている。又面会や行事への参加をして頂き、共に支援している。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙や電話、面会でのやり取りが出来ている。行事や外出支援を行い、関係の継続が出来ている。	本人と家族の関係が途切れないよう来訪し易い環境づくりに取り組んでいる。また、友人・知人の来訪支援や花見・ドライブなどで馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個人の性格の把握、入居者様同士の関係を理解し、トラブルを早急に解決出来る様努め良好な関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も相談等あれば対応支援している。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの意向を尊重し、把握に努めている。	センター方式を活用して、一人ひとりの生活歴や暮らし方の希望、意向の把握に努め、カンファレンスやモニタリングで職員間で情報の共有が行われ、本人本位に検討している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様、ご家族様や利用していた機関から情報を収集し把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活情報の把握、情報を全職員が理解、把握出来る様努めている。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様の日頃の様子をご家族様来所持やお手紙、又必要であれば直接電話を掛けて知らせ意向を確認している。職員間で課題や目標を話し合い、現状にあった介護計画を作成している。	本人や家族の希望や要望、カンファレンス、モニタリングを通じて職員の意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を観察記録し、課題や目標さらに必要な介護援助の介護計画や見直しに活かしている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様、ご家族様が望む外出や通院、入院の対応等ニーズに応えられるよう支援している。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内役員や民生委員との情報交換やご近所の方の来訪など、地域との交流を図り、安心できる生活支援を行っている。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様、ご家族様の希望を汲み取り、以前から受診している病院での受診の支援をしている他、対応等担当医の意見を聞き適切な支援を心掛けている。	本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。また、医師の往診や常勤看護師の連携、通院への送迎支援などで適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置で、日頃から体調の変化を相談出来ている。必要あれば受診等の支援をしている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院との情報交換を行っている。入居者様の現在の状態をこまめな通院、報告で病院側にも把握してもらっている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居者様、ご家族様と話し合い、方向性の確認をしている。又医師を交えての話し合いの機会を設けている。	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、ターミナルケアを実践している。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、日頃から職員が確認・対応出来るような体制を整えている。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼夜を想定し、定期的な訓練を実施する他町内の方々にも協力して頂ける体勢が出来ている。	地域の人々も参加する消火訓練の実施や避難訓練など年2回実践し、緊急時に対応できるように取り組んでいる。また、スプリンクラーや通報装置、火災報知器等の設備を完備し、定期点検も実施している。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員が一人ひとりの性格や誇り、生活暦を理解した状況に応じた対応をしている。	職員間でカンファレンスや毎月のミーティングで話し合い、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように周知している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が意見等を言いやすい環境作りに努めている。職員も一人ひとりの気持ちを汲み取れる支援を心掛けている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人の希望を尊重し、意向に添った支援を心掛けている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人様に衣類など選んでもらったり、個人で出来ない方には希望を聞き支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器の工夫や補助具を使用し、自力摂取出来る様に支援している。又ご本人様の状態に応じ職員と共に準備や片付けを行っている。	一人ひとりの好みや力を活かしながら、職員と一緒に調理の下ごしらえや食事の準備、後片付け等をしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご本人様の状態に合わせて、大きさ、柔らかさ等に考慮している他、ご本人様の好みに応じた水分提供をしている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個人に合った道具を用意し、必要であれば介助している。定期的に歯科衛生士によるケア、状態によって医師の往診を受けている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個人の排泄パターンを把握し、声掛け誘導するように努めている。	一人ひとりの力や排泄パターンを排泄チェックで把握し、トイレで排泄できるように支援している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤だけに頼らず乳酸菌飲料や食物繊維、加工品、運動、水分量を調整する等している。必要であれば医師に相談し下剤の服用をしている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ご本人様の都合、体調により調整している。又会話を楽しめるような支援をしている。	一人ひとりの希望やタイミング、体調の変化を見極めながら、入浴を楽しめるよう支援している。また、脱衣場は広く、清潔感が漂っている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居前の生活習慣を把握するようにし、休息が取れる様な支援をしている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の内服について、各自職員が理解し、把握に努めている。他状況に応じ医師と相談し変更、記録や申し送り確認している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎月行事をし、楽しみを持ってもらえるよう支援している。ご本人様の生活歴を把握しながら、軽作業を促している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>個人の希望に応じ買い物や散歩、外出に出かけるなどの支援を行っている。ご家族様や友人の誘いでドライブ、映画鑑賞などにも行かれている。</p>	<p>一人ひとりのその日の希望にそって、畑作業やお花の手入れなどの役割ごと、お花見や買い物、銀座商店街の七夕祭り参加や回転寿し・ショッピングモールでの外食など戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、近隣幼稚園児のお遊戯の訪問等で子どもたちとの交流にも取り組んでいる。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金、通帳は本人に了解を得て家族、ホームでの管理をしている。買い物、外出時に渡し使えるよう支援している。</p>			
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望により電話の設置や手紙を出す支援を行っている。</p>			
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節により快適に過ごせる様、毎日清掃、適度な換気を実施している。又季節ごとの貼り絵を入居者に作成してもらい展示するなどし、心地良く過ごせるよう工夫している。</p>	<p>毎日の清掃・消毒換気を行い、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、共用の空間では季節毎の行事の写真の掲示や作品が飾られていたり、椅子やソファが配置され本人が居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用スペースでのご自分の居場所が決まっており、それぞれ思い思い過ごされている。</p>			
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>なじみの家具、小物を継続して使用する事や本人のライフスタイルに合った配置の工夫で自分の部屋として過ごして頂けている。</p>	<p>本人や家族と相談しながら、使い慣れた家具や寝具、仏壇が持ち込まれたり、家族の写真等が掲示され、居心地よく過ごせるように工夫をしている。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの状態に応じて表示を付けたり、見守り・支援でご自分で出来るように配慮をしている。</p>			

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901761		
法人名	有限会社 あらた		
事業所名	グループホームあらた(ユニット2階)		
所在地	旭川市豊岡8条1丁目3番20号		
自己評価作成日	平成25年8月6日	評価結果市町村受理日	平成25年9月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出の機会を設け、ホームの庭では季節の花の鑑賞や野菜の成長・収穫の喜びを感じられるよう、できるだけ外の空気に触れ、季節感を感じて頂ける支援を行っている。ホーム内でも体操や歌レクなどを通して、笑い声の絶えない生活支援を心掛けたり、職員の見守りを受けて自分の力でできる事を一緒に行えるよう、一人ひとりのQOLやADLの維持・向上に努める事で、充実・達成・満足を感じられるような支援を行っている。

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=0172901761-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成25年8月21日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します					
項目		取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様の「安心と尊厳のある生活」を目標とした四項目の基本理念を朝礼時唱和し、社会に信頼される施設づくりに努めている		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時は近隣者へ積極的に挨拶を交わし、ホーム行事への参加を呼び掛けたり、除雪の助け合いなど近隣の方々とのつながりを大切にしている		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を開催し、町内会の方々に参加して頂き、事業所の取り組みを理解して頂いている		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方々、町内役員、協力医療機関の方々と定期的にホームの情報公開を通し、意見交換を行いながら、サービス向上に取り組んでいる		
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市担当者とは、日常的に連絡・報告・相談等を行い、指導・助言を頂きながら関係を築いている		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「禁止となる具体的な行為」を目立つ所へ掲示し、理解を深め、見守りの徹底をし、拘束をしないケアを行っている		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティング内で具体的な虐待行為について話し合いを持ち、虐待のない支援に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	司法書士より権利擁護に関する指導を受け、状況に応じたアドバイスを受けている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご本人様・ご家族様共にホーム見学時や事前面談時に入居に関する説明を行い、理解・納得を頂いている		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口の掲示や1F玄関に意見箱を設置し、日頃面会時には積極的に声を掛け、意見・要望を伺い、運営に反映している		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回のミーティングを通して意見聴取したり、普段の業務内でも話し合いや意見交換を行い、運営に反映している		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場での実績や景観、勤務状況、資格の有無に応じて昇給の機会がある		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	協力医療機関や調剤薬局の協力を仰ぎ、勉強会を行ったり、毎月1回のミーティング内で問題形式の課題を提示し、職員の資質向上に努めている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会や講習会への参加を勧め、サービスの質の向上へ向けた環境整備を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の情報を基に、ご本人様の状況や希望を把握し、安心を得られる環境づくりに努めている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご家族様の要望・不安等に耳を傾け、安心してお任せしてもらえるような関係づくりに努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の情報を基に、必要としている支援を見極め、適切なサービスの導入など丁寧な説明を心掛けている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の体調管理に努め、また精神的な支援も大切にしながら、お互いに向上していける関係を築くよう努力している		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様へ毎月写真付きのお手紙で様子を報告し、連絡を密にする事で、入居者様と一緒に支援していく関係を築いている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や知人との関係を絶やさぬよう、面会やお手紙などで交流を深められるよう、支援している		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係や性格を考慮し、行事やレクリエーションを行い、交流を深められるよう支援している。またトラブルの早期発見・対応により、和を保てるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先へ訪問等行い、ご本人様・ご家族様より相談の対応を行っている。退居後もホームへ遊びに来られるような環境作りを心掛けている		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	担当制により、ご本人様の希望や意向を細かく把握し、カンファレンス内で検討し、より最適な生活支援・環境作りを心掛けている		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートを活用し、個々の生活歴や馴染みの環境や出来事を把握したり、情報の共有を図り、日々の支援につなげている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	細かく状況を記録したり、定期的なカンファレンスを実施し、現状の生活レベルの把握に努めている		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当制により、個々に必要な支援を話し合い、ご家族様の要望や現状に合ったケアプランの作成をしている		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	管理日報・個人記録・連絡ノートを活用し、日々の様子やケア内容の改善・工夫等の情報を共有しながら、日々の支援に努めている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々の通院・外出支援やカイロプラティックやマッサージ・理容・口腔ケア支援の訪問サービス等、出来る限りニーズの柔軟な対応をしている		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内役員や民生委員との情報交換やご近所の方の来訪など、地域との交流を図り、安心できる生活支援を行っている		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	今まで受診してきた病院との関係を大切に、ご本人様の希望に合わせた受診・往診の調整をしたり、緊急時の個別対応などの指示を頂き、適切な医療を心掛けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員へ入居者様の日々の体調や状態変化を報告・相談し、すみやかに適切な対応ができるような体制を整えている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的な面会をし、治療内容・状況の把握に努め、病院関係者との情報交換を行い、早期退院に向けての対応に努めている		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合や終末期に向けた当ホームの方針をご家族へ説明し、主治医・ご家族様・職員を交え状況に応じた終末期についての話し合いの機会を設けている		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを目の届く所に設置し、咄嗟の対応に備えたり、日頃から応急処置に対する看護師からの指導・助言を受けている		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内役員が運営推進委員でもあり、定期的に避難訓練・消火訓練を行い、職員の防災意識の向上を図っている		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様個々の人格やプライバシーに配慮した言葉かけや対応に努めている		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の何気ない言葉や会話の中で希望を汲み取り、ご本人らしい生活ができるよう支援している		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様ひとりひとりのその日の体調や希望に副った支援を実施している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の化粧の見守りをしたり、ご本人様の希望を考慮しながら、天候・季節にあった身だしなみを支援をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の好みやできる事を把握し、一緒に調理・盛り付け・食器片付けなど行っている		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の疾患や嚥下力に合わせ、食べやすい・飲み込みやすい形態で栄養バランスの取れた内用量を提供している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアで清潔を保てる支援を行い、訪問歯科と連携し、口腔ケアの技術向上に努めている		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、可能な限りトイレでの排泄、自力での排泄の継続支援を心掛けている		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分や食物繊維・乳製品を取り入れ、運動で便秘予防を図ったり、医師や看護師へ相談し、適切な下剤調整を行っている		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	受診や外出予定や体調を考慮し、リラックスして頂けるような入浴の支援を心掛けている		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	週1回の寝具交換で清潔を保ち、安眠できるような環境作りを行っている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師や看護師からの助言、個々の服薬内容を理解し、服薬前には複数の職員での確認を実施したり、服薬後の変化を観察している		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	興味や出来る事、生活歴を活かしながら、楽しく充実した毎日が過ごせるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>入居者様の希望を取り入れながら外出行事を企画したり、個々の外出希望にはご家族様の協力や職員が付き添い支援している</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>多額の金銭はご本人様ので了承を得てご家族様やホームで管理している。小額を自己管理し、買物時支援している方もいる</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>職員の支援を受けながら、電話を通じてお話ししたり、お手紙を自筆で書かれ、交流が図れるよう支援している</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>快適に過ごせるよう、毎日の清掃・消毒・換気を行い、行事の写真に季節感ある作品の掲示で、心地良い空間づくりを心掛けている</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファーでくつろいだり、エレベーターホールでのりハピリ、テーブルを囲んで歌う等、思い思いに過ごせるような空間づくりをしている</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具や小物など継続して使用される事を勧め、落ち着いて過ごせるよう配慮している</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各居室やトイレ・浴室などわかりやすく表示したり、ホーム内バリアフリーで安全・自立を心掛けた環境づくりを行っている</p>		

目標達成計画

事業所名 グループホーム あらた

作成日: 平成 25年 8月 22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7・36	虐待・不適切なケアと成り得るような何気ない声掛けや支援が行われていないか？	全職員が不適切と思われる支援をしっかりと見極められるような観察力や洞察力を養いたい	具体例をもとに定期的に話し合い、「あらた」内での基準となるものを決めて、今後の業務・対応に役立てる	3ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。